

## 2021 年度 やまきん文化講演会「古代史解体新書」について

### 1 趣 旨

延べ5年間にわたり南山城地域の「古代史」を楽しく学べる府民向け文化講演会として様々なテーマを設定して実施することにより参加者からは一定の評価を得ることができた。ただ年間の実施回数が少なく、各回が独立した講演会となってしまった感もあった。

これまでの成果と課題を踏まえ、今年度は古代史の全体像を幅広く多角的、総合的に学べる場となるよう企画する。

具体的には「古代史解体新書」と称して年間を通して10回をシリーズとし、一人の専門家に講師を依頼することにより、南山城地域の古代史を常に具体的な柱に据えながらも、全国各地や大陸、半島等との関連も視野に入れた講演内容とすることと、年間を通して聴講することにより「古代史」の全体像をより興味深く3次元的に理解できる機会を提供する。

さらに、参加型の講演会となるよう、講師の講演のあと質問の時間を設定して参加者の「なぜ」に応え、各回の聴講内容の「つながり」を認識できるよう運営する。

### 2 講 師

筒 井 崇 史 氏 京都府埋蔵文化財調査研究センター 企画要請係長

### 3 募集定員

各回40名程度とし、シリーズ10回を通して聴講することを推奨する。ただし途中テーマに応じた参加等については柔軟に対応する。(50名を上限とする。)

### 4 参加費

各回300円とする。(年間10回通しの場合は2,400円)

### 5 日程等

5月より各月1回を基本として、土曜日又は日曜日に開催する。また時間設定は午後1時30分から午後4時とする。

### 6 その他

(1) 募集に係るチラシは、3回分を一つの区分として作成し、関係各所に配架等の依頼をするとともに、新聞社等を通じて広く広報する。HPにおいては複数回再掲して広報する。

(2) 申込受付は年間を通して随時実施し、各回40名の定員についても柔軟に対応する。